

新型コロナウイルス感染症クラスターの終息について

この度は、新型コロナウイルス感染症クラスターの発生により、患者さま・ご家族さまをはじめ、地域の皆さま、医療機関・関係機関の皆さまには、多大なるご心配とご迷惑をお掛けしましたことを深くお詫び申し上げます。

また、ご逝去されました患者さまのご冥福を心よりお祈りいたしますとともに、ご遺族の皆さまに謹んで哀悼の意を表します。

1月20日(水)に陽性者が判明した直後より対策本部を立ち上げ、県クラスター対策班、鈴鹿保健所の指導のもと、早期終息に向けて全力で取り組んでまいりましたが、結果として96名の陽性者が判明したことは誠に遺憾に存じます。

2月25日(木)以降、2週間以上が経過しましたが、クラスターに関連する新たな陽性者は発生しておりません。このような状況から、行政機関の客観評価も踏まえ、クラスターの封じ込めが完了したものと判断し、本日、当院における新型コロナウイルス感染症クラスターの終息を宣言いたします。

終息に至るまでには、やむを得ず新規入院および救急医療の停止などの措置を講じさせていただきました。その際、地域の医療機関や関係機関の皆さまに過大なご負担をお掛けしたことを深くお詫び申し上げるとともに、温かいご支援とご協力を賜りましたことに改めて心より厚く御礼申し上げます。

今後は、患者さま・ご家族さまをはじめ、地域の皆さまに安心して医療を受けていただけるよう、本事案で得た様々な教訓や経験を活かし、今一度、職員一人ひとりが感染防止対策を徹底するとともに、PCR検査対象者の拡大を図るなど院内感染を未然に防止する対策を強化したうえで、診療を全面的に再開させていただきます。

何卒よろしくお願ひ申し上げます。

令和3年3月12日
鈴鹿中央総合病院
院長 森 拓也